



7/10 (月) 水生生物の採取観察会

町観光協会（澤秀雄会長）は、観光ボランティアガイドのスキルアップをはかるため、茨城県環境アドバイザーの川島省二先生を講師に招き、水生生物の採取観察と水質検査の方法について学ぶ勉強会を開催しました。

参加者約30人は、涸沼自然公園の中を流れる若宮川で、コオイムシやカニ、スジエビなど23種の水生生物を採取するなどして、水生生物や水質について熱心に学びました。



7/15 (土) 涸沼流域をきれいに ひぬま流域クリーン作戦



涸沼の水質浄化活動に取り組んでいるクリーンアップひぬまネットワーク（谷萩八重子会長）は、大好きいばらき県民会議（幡谷浩史理事長）との共催で、涸沼自然公園を中心に清掃活動を実施しました。

地元企業や地域住民などの参加者約600人が参加し、燃えるゴミ（総量160kg）、燃えないゴミ（総量110kg）をそれぞれ回収しました。

参加者は涸沼の自然の豊かさを感じるとともに、環境保全の大切さを実感する日となりました。

7/19 (水) 茨城ひぬまライオンズクラブ活動報告

茨城ひぬまライオンズクラブ（関根敏政会長）は、献血献眼運動・薬物乱用防止教室の開催、地域イベントへの参加など多岐にわたる奉仕活動を行い、現在29人で活動しています。

19日、同クラブは、小林宣夫町長を表敬訪問し、昨年度の活動報告と会報誌の寄贈をしました。関根会長は結成5周年を迎えるにあたり「活動の充実と会員募集に今後も取り組んでいきたい。」と抱負を述べました。



7/20 (木) 夏の交通事故防止県民運動



「わすれない ルールとライトと 思いやり」をスローガンに、夏の交通事故防止県民運動が実施され、運動期間初日の20日、交通安全協会や交通安全母の会など関係団体がイオンタウン水戸南センターコートを中心に、街頭キャンペーンを行いました。関係者は啓発品を配布し、「反射材や安全確認の徹底に努め、事故の被害を防ぎましょう。」と交通安全を呼びかけました。

6/25 (日) 社会を明るくする運動 犯罪や非行の防止を呼びかけ

「社会を明るくする運動」街頭キャンペーンをイオンタウン水戸南で実施しました。保護司会や更生保護女性会など各種団体や、町内2中学校の生徒たち83人が参加し、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人の更生について理解を深めることを呼びかけました。

この運動は、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、今年で67回目を迎えます。



7/5 (水) シルバーリハビリ体操指導士に感謝状



シルバーリハビリ体操は、高齢者の健康の維持・増進を目的とした体操です。現在、町では68人が「シルバーリハビリ体操指導士」として活躍し、体操の普及に努めています。

長年にわたりシルバーリハビリ体操指導士として、地域住民の健康づくりに貢献された14人に、茨城県から感謝状が贈られたことを称え、酒井和二副町長から感謝の言葉が贈られました。知事賞を受賞した井坂廣雄さんは「活動が高齢者の健康づくりにつながれば。」と思いを語りました。

7/5 (水) 学校給食へ「涸沼産大和しじみ」を寄贈



町内の幼稚園、小・中学校の子どもたちに、涸沼が誇る旬の味覚を味わってもらおうと、地元のしじみ漁師の皆さんから「涸沼産大和しじみ160キロ」が寄贈されました。

寄贈された食材は、地産地消の取り組みの一環として、6日の学校給食で「しじみ汁」として提供されました。

子どもたちは、「地元でこんな美味しいしじみがあるんだ。」と喜び、おかわりの列ができるほどの大人気でした。

◆寄贈者名  
野口 浩美 様 [有涸沼川水産] 長洲 隆之 様 [有涸沼川水産] 長洲 人志 様 [広浦屋]  
小堀 浩明 様 [花鈴] 長洲 修児 様 [魚舟]

7/6 (木) 手話奉仕員養成講座 開講

茨城町聴覚障害者協会は、町総合福祉センターゆうゆう館において、平成29年度茨城町手話奉仕員養成講座開講式を開催しました。

この講座は聴覚障がい者の社会参加促進に役立てることを目的とし、毎年行われるものです。受講者は本年度、手話に関する基礎知識として、手話での挨拶の仕方や五十音などを学んでいきます。

